

＜第9回「第2のふるさとづくりプロジェクト」に関する有識者会議＞ 採択地域の取組状況

令和6年10月11日(金)
観光資源課

第2のふるさと
A NEW HOMETOWN



第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

iX TOURSとは、

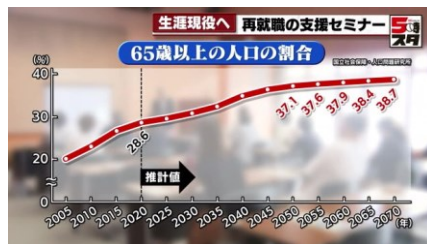
旅行と学び直しを掛け合わせた観光プログラム

私たちが着目したポイント

シニア世代が
学び直しを求めている

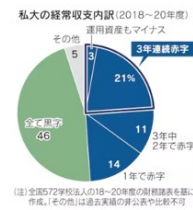
地方大学が
慢性的な経営赤字に

地方の人口が
減少している



日本経済新聞 2022年4月18日朝刊

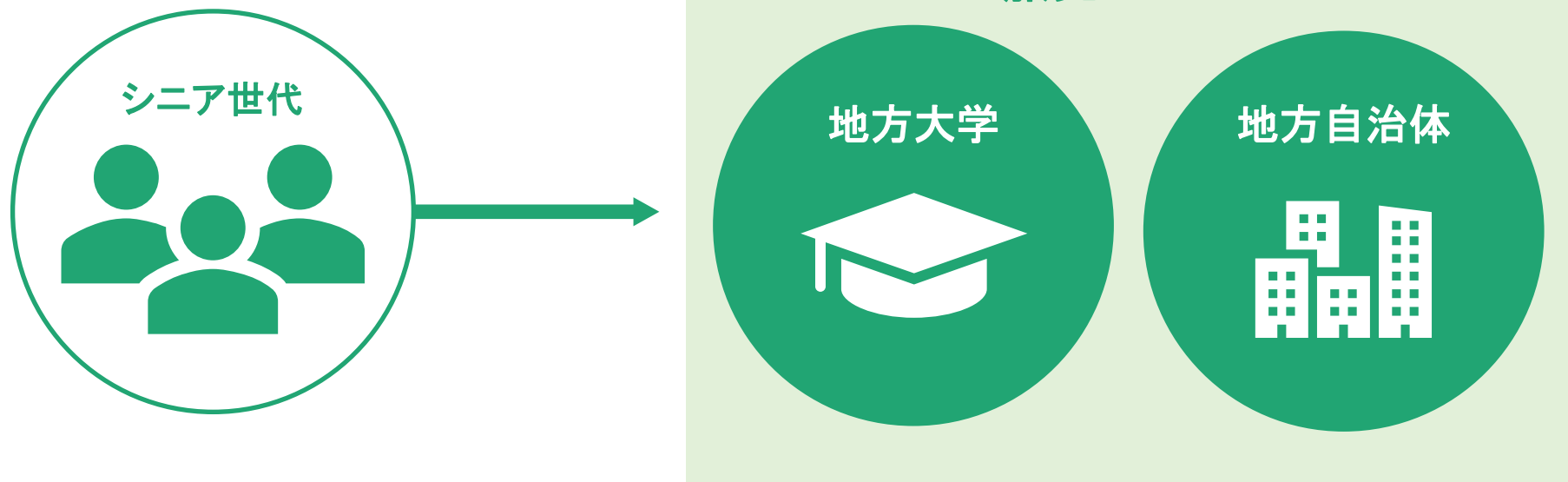
少子化影響、4割で定員割れ
先端教育に対応、投資重荷
再編視野に対策急務



そこで、学び直しを求めるシニア世代をターゲットに

旅先で資格・スキルを獲得できる観光プログラムを提供。

また、移住・定住、二地域居住のきっかけ作りに貢献



プログラムは一度きりではなく、必ず複数回来訪する設計。

**2泊3日 × 3回の観光学習で
地域との関係性を構築し
移住しやすい環境づくりに寄与。**

全関係者にメリットが存在

参加者



- ・セカンドキャリアに向けたスキルの獲得
- ・移住を見据えた新たな人脈づくり

地方大学



- ・新たな収益元の獲得
- ・大学の知名度向上

地方自治体



- ・地方関係人口の増加
- ・観光地としての知名度向上

それが、私たちの提供するiX TOURS



iX TOURS

私たちのミッション iX TOURSとは iX TOURS3つの魅力 プログラム詳細 上川町のご紹介 参加者の声 [参加する](#)

iX TOURS わたし トランスフォーメーション

旅先の大学で、自分のキャリアデザインに合ったスキルを身につける。
学びながら旅をする、起業する、移住する、仲間をつくる。
それが「わたしトランスフォーメーション=iX」 新しい自分に出会う旅。

／ 第1回「北海道上川町PLAN」 ／

実践的・学術的に「地方における起業」を学ぶ。
上川町民や学生との交流を通して、地域とのつながりもできる



小樽商科大学教授



上川大雪酒造
塚原社長



カミカワークプロデューサー
(地域おこし協力隊)



何故北海道上川町な
の？

**上川町では町外から移住して起業してくれた方には
年間260万円（最大3年間）の補助金を支給する
カミカワークプロデューサー制度があるから！**



旅マエは**事前講義**を、旅アトには**ワークショップ**をオンラインにて実施。

プログラム後にはオフ会を実施し**自発的再来訪**をサポート！

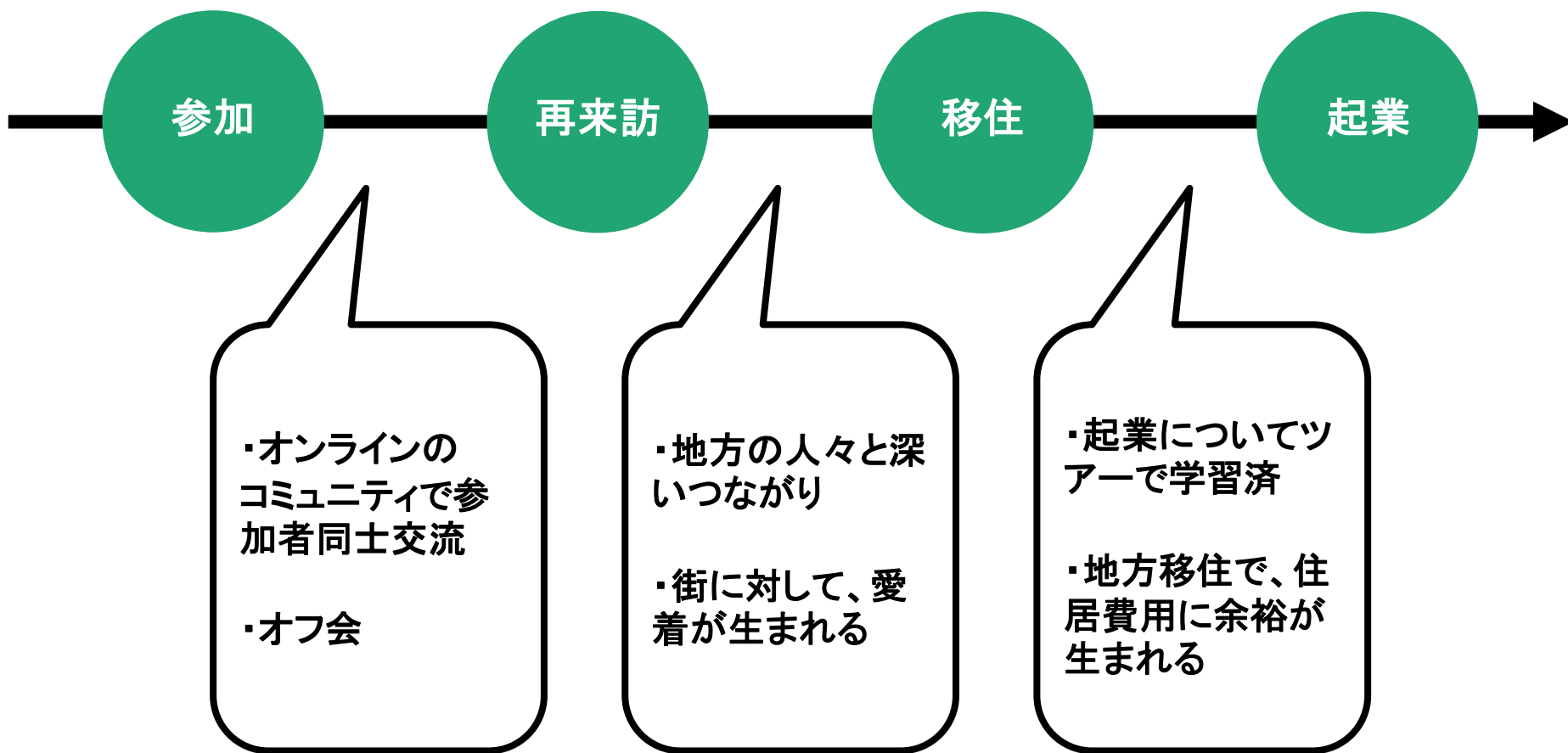
	Step 01 事前準備 オンライン講座動画視聴	Step 02 旅行実施	Step 03 事後学習 オンラインワークショップ
○ 1回目	• iX TOURS「北海道上川町PLAN」について • 地方起業講座①／小樽商科大学講師 • 上川大雪…ストーリー／上川大雪酒造(株)塚原社長	• 上川大雪酒造塚原社長の生講義 • 上川大雪酒造の実際の事業を学ぶ • フィールドワーク&ワークショップ／小樽商科大学講師（予定） ※地域の方々との交流	• 旅後フォローアッププログラム リーンキャンパスを使ったワークショップ／小樽商科大学講師
○ 2回目	• 地方起業講座②／小樽商科大学講師 • 上川町の起業支援等について／上川町	• 大雪山、層雲峡温泉の魅力を探る • 上川大雪酒造の実際の事業を学ぶ • フィールドワーク&ワークショップ／小樽商科大学講師（予定） ※地域の方々との交流	• 旅後フォローアッププログラム リーンキャンパスを使ったワークショップ／小樽商科大学講師
○ 3回目	• 地方起業講座③／小樽商科大学講師	• 地域特徴を踏まえた企業について • 地元企業家との共同作業での冬の実際の事業を体験する • フィールドワーク&ワークショップ／小樽商科大学講師（予定） ※地域の方々との交流	• 旅後フォローアッププログラム リーンキャンパスを使ったワークショップ／小樽商科大学講師

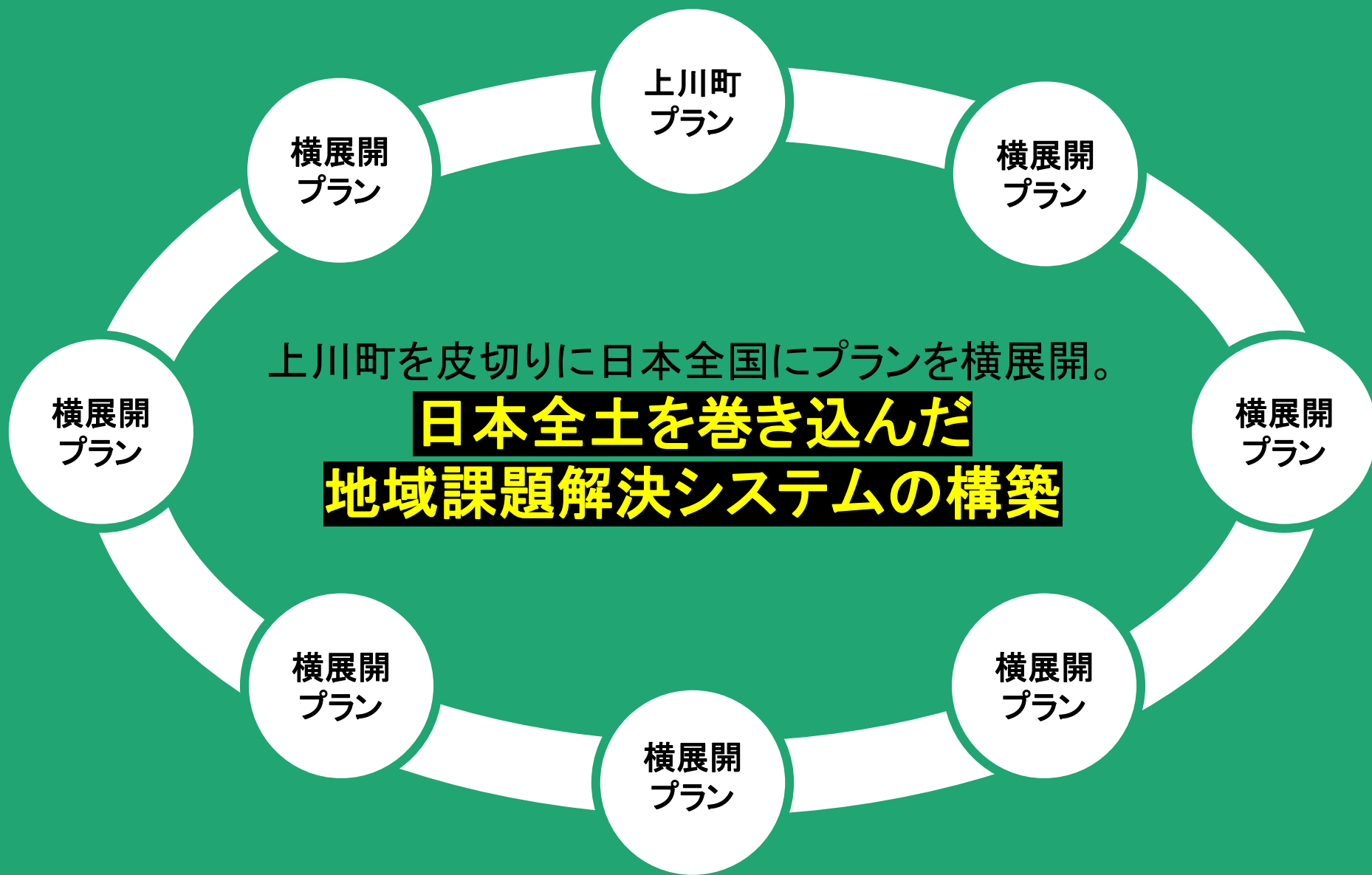
参加者募集告知はオンラインコミュニティ中心に実施。

またツアー参加者同士で交流できるオンラインコミュニティも用意。



参加後フロー







第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

2019年山の購入 →洞爺湖町に約70ha、東京ドーム約14.8個分

(株)渡辺梱包企画は梱包業と同時に「トーヤの森」を管理運営する事により、その知識と経験を活かし、山林管理を行う事としました。梱包資材として大量に木材を使います。そのため、消費責任として資源の再生にも力を入れるべく、森林事業を行っております。

弊社では自然を大切にし、自然と共存していくための活動も行う事としてトーヤの森の活動を始めました。



トーヤの森
OPEN DAY
since 2018

森のワークショップ
テントサウナ
マウンテンバイク
冬の森遊び
森づくりの相談
イベント会場提供 etc...

QRコード: @FOREST_IN_TOYA (Instagram) / LINE

お問合せ、フォローはお気軽に



FOREST IN TOYA

やま遊びは無限大
たくさんの人に自然を体験していただきたいと思っています。

Forest in charge (入林料)
2,000円/1人
Event (イベント1日山の利用料)
50,000円/1日

会社設立当初から梱包資材の消費を抑え、また消費責任として資源の再利用にも力を入れるべく、洞爺湖町に約70haの森林を所有して森林事業を行っています。
これからも循環型の梱包会社を目指していきます。
どうぞよろしくお願いいたします。

株式会社 渡辺梱包企画 代表 渡辺大悟

7月27日(土)～28日(日)

参加費 | 1人15,500円 (宿泊/食費込み)

内容 | トーヤの森の散策、道作り見学、伐倒見学、間伐体験、薪割り等

27日の夜は、座学あり、交流会あり、楽しい夜をご用意！

宿泊プランでのご参加をお待ちしています☆ “

もちろん日帰り参加も受付中です！！

(日帰りの場合は1日2,000円の
フォレストインチャージのみとなります。)

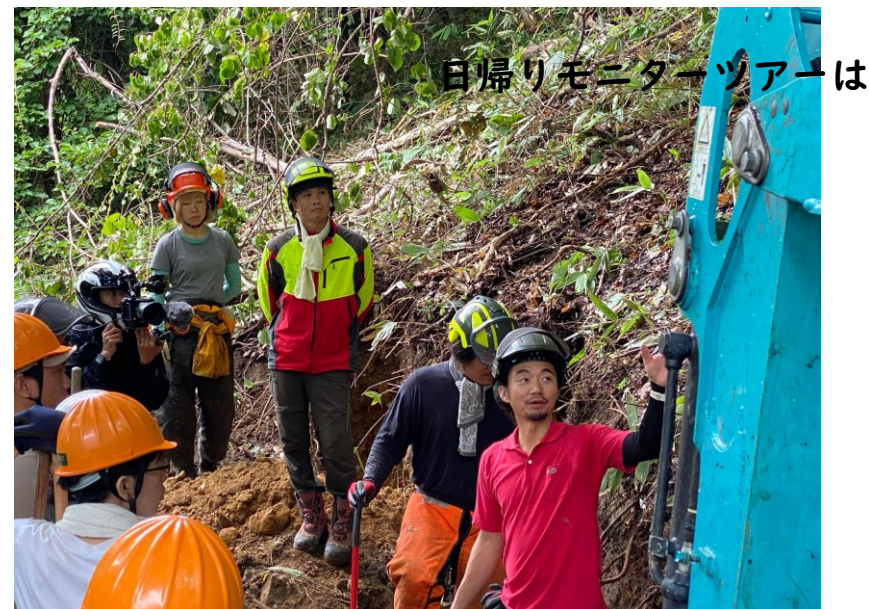


実際の
ご案内分です！



森と街のがっこう
in トーヤの森 2024

- ・森の道づくりを本気で学びたい人
- ・仕事/遊び/生活を通して森との関わり方を模索している人
- ・森で過ごしたい、森を感じたい、森に癒されたい人
- ・なんか森が気になっている人
- ・outwoods の森林作業道の作り方や林業について知りたい、体験したい人 ・観光
- ・レジャー目的の方が多く訪れる洞爺湖温泉街ではなく、穏やかな湖を目の前にのんびりとした空気を感じることができ、森や海も近く、自然と共にある暮らしを体験できるエリア での宿泊を提供する（チャシバクイン）



7月27日（土）1日目

- 9:00 集合
- 9:30 午前の部
- 11:30 昼食
- 12:30 午後の部
- 15:00 終了/移動
- 18:30 座学開始
- 20:00 交流会（洞爺湖町コテージ）

7月28日（日）
7:00 午前の部
11:30 昼食
12:30 午後の部
15:00 終了



日帰りツアー
宿泊付き

15名が参加
2名

2回目イベント もりであそぼう in トーヤの森 ～森歩き×SUP×秋の洞爺湖～

第2のふるさと
A NEW HOMETOWN

9/21(土)・22(日)開催！ もりであそぼう in トーヤの森 ～森歩き×SUP×秋の洞爺湖～

「森と共にある暮らし」をコンセプトにした全4回のプログラムの2回目。森林の新たな価値を創出するという理念のもと、環境保全型林業を実践し、豊かな自然環境自体の楽しみ方を提案する「トーヤの森」をフィールドにしたプログラム。

・環境に対するインパクトを最小限にして、アウトドアを楽しむための環境倫理プログラム「Leave No Trace（リーブノートレイス）」を、地元で、旅とアウトドアを愛する人の為のライフスタイルセレクトショップ『ZERODAY』を営む大須賀太郎さん・桃さんと学ぶ「森歩き」。

・洞爺湖・支笏湖・積丹・ニセコなど、様々な道内のフィールドでサップツアーを開催する Ezo Nature Act 佐藤広基さんと楽しむ「秋の洞爺湖SUPじかん」。

をプログラムとして提供いたします。

<こんな方に特にご参加頂きたいです>

- ・森歩きや、SUPなど、森の多面的価値の活用に興味がある方
- ・「森林の新たな価値を創出する」というトーヤの森の理念に共感する方
- ・環境保全型林業に興味がある方
- ・Leave No Trace（リーブノートレイス）を楽しみながら学んでみたい方
- ・SUPをしながら、のんびりと秋の洞爺湖じかんを感じてみたい方

もりで あそぼう トーヤの森



自然を大切に
する方法を学
ぶ森歩きと、
みずうみサップ



9.21 SAT | 9.22 SUN
OPEN 13:00-翌 10:30
会場：トーヤの森

@zeroday_loya



自然を大切にする方法を学ぶ森歩き

洞爺湖のほとりにある、旅とアウトドアの店 ZERODAY店主の大須賀太郎さんと歩くトーヤの森。環境への影響を最小限にして、アウトドアを楽しむための環境倫理プログラム「リーブノートレイス」を学びます。

【1日目 9月21日（土）】

13:00

トーヤの森 集合

※住所：洞爺湖町川東。とうや水の駅から西に車で5分ほどの場所です。

13:00～16:00（3時間ほど）

『Leave No Trace（リープノートレイス）について楽しみながら学ぶ森歩き』

ゲスト：洞爺湖のほとりにある、旅とアウトドアを愛する人の為のライフスタイルセレクトショップZERODAY 店主 大須賀 太郎さん

16:00～18:00（フリータイム）

各自宿泊施設チェックインや、宿泊の準備、周辺地域の散策など

18:30～

地域食材を使ったBBQ@トーヤの森

※各自のポットラック（それぞれ好きな食材・飲み物の持ち寄り）歓迎です。

20:30頃 目途 終了

【2日目 9月22日（日）】

朝7:00

トーヤの森 集合

7:00～9:00（2時間ほど）秋の洞爺湖早朝SUP

ゲスト：Ezo Nature Act 佐藤広基さん

※SUPや水系のアクティビティが苦手な方は、代替プランとして、朝のトーヤの森の散策をご案内いたします。

9:30～10:30（1時間ほど）

SUPの方も、森歩きの方も合流して、湖畔で2日間を振り返りながらのコーヒーorティータイム（軽食付き）

10:30 終了

@ezo.nature.act



すぐそこにある湖畔でSUP

洞爺湖の秋の朝を、SUPでクルーズ。大滝に暮らすSUPガイド「EZO NATURE ACT」の佐藤広基さんが教えてくれるので、はじめての人でも安心。のんびり支笏洞爺国立公園のうつくしい景観を、みずうみの上から眺めてみませんか。コーヒーと軽食付き。





9月21日（土） 森歩き+BBQ

■参加者

大人14名 子供2名（5才、3才）

9月22日（日） SUP

■参加者

大人13名 子供2名（5才、3才） 中大型犬1匹（4才）

オクラホマ河野真也 企画イベント

木こりさん、家具職人さん、木作家さん、
あなた。

みんなでヤマに入り、切り出す木の、その
ままを見て・・・ さあ、何を作ろうか？

作り手と直接話して、あなただけの木工製
品を作りませんか？

出来上がった製品は後日、お手元に。

木が生まれるヤマから、あなたの日常に寄
り添う”たからもの”を見つけてください。



木のひと森に入る vol.2

トーヤの森

洞爺の木

北海道の人

～2024 クルミの木～

木を使った家具や道具、うつわや小物。
その木はどの山で育って、
誰がどうやって伐って
誰が仕上げたものなんだろう？
とてもシンプルな答えが、ここにあります。
森から人へ、そしてあなたの手へ。

photo : 山内麻由美

2024
10.26^{Sat}

[場所] トーヤの森
(北海道虻田郡洞爺湖町川東)

[木] クルミの木

[木こり] outwoods 足立成亮

木こりさん、家具職人さん、
木作家さん、
あなた。

みんなでヤマに入り、切り出す木の、そのままを見て・・・
さあ、何を作ろう？
作り手と直接話して、あなただけの木工製品を作りませんか？
出来上がった製品は後日、お手元に。
木が生まれるヤマから、あなたの日常に寄り添う”たからもの”を見つけてください。

河野(こう)銘本店

【家具職人】
札幌で創業71年の老舗木材店。
丸太から製品にするまで自社で
仕上げ、節や割れなど「木の個
性」を大事にしたもののづくりに
挑戦しています。

内田 悠

【木作家】
1985年生まれ 北海道出身
2003年 北海道虻田郡洞爺湖町に入居
2013年 岐阜県森林たくみ塾に入塾
2017年 北海道三笠市に工房を構える

<当日の流れ>

- 1) 「トーヤの森」(北海道虻田郡洞爺湖川東)集合(13:00)
※集合場所の詳細は、お申し込み後個別にご案内いたします
- 2) 森の中を徒歩で移動しながら、outwoods 足立成亮さんと山主の渡辺大悟さんによるレクチャー
- 3) 今回の材料となる「クルミの木」を見学
- 4) 木こりの作業現場を見学
- 5) 職人さん、作家さんとの相談会・購入(15:30頃解散予定)

【オクラホマ河野真也からのメッセージ】

去年、環境保全型の林業を営むoutwoods 足立成亮さん、僕に“木”のキッカケをくれた河野(こうの)銘木店と札幌のヤマで行なったこの企画。

vol.2は洞爺湖を望める「トーヤの森」です。

以前から個人的に大ファンだった内田悠さんが参加してくれます。

作品、メチャクチャ 美しいです。

量産品と比べたら高いけれど、職人さんが丁寧に作った木の家具やうつわは“一生もの”、大切に使えば次の世代へと引き継がれ、“一生以上のもの”となります。

一緒に、洞爺湖と紅葉を見ながら森歩きしませんか？

当日の流れ

- 1 「トーヤの森」(北海道虻田郡洞爺湖川東) 集合(13:00)
※集合場所の詳細は、お申し込み後個別にご案内いたします
- 2 森の中を徒歩で移動しながら、outwoods 足立成亮さんと山主の渡辺大悟さんによるレクチャー
- 3 今回の材料となる「クルミの木」を見学
- 4 木こりの作業現場を見学
- 5 職人さん、作家さんとの相談会・購入(15:30頃解散予定)

作品(製品)参考例

河野(こうの)銘木店			
テーブル ¥330,000~	ウィンザーチェア ¥66,000~	表札 ¥33,000~	時計 ¥5,500~
内田 悠			
丸皿 ¥14,300~	リム皿 ¥12,100~	丸リム皿 ¥11,000~	板皿 ¥8,250~

参加条件

- ・「入森料(フォレストインチャージ)」を頂戴いたします(大人:2,000円/大学生:1,000円/高校生以下は無料)
※入森料(フォレストインチャージ)は、全てトーヤの森の森林整備に活用されます
- ・集合場所は公共交通機関がございませんので、車両等ご自身の移動手段にてご集合ください。
- ・参加者1名様につき、製品1点をご購入ください。(製品の種類・内容は各作家とご相談いただけます)

申し込み方法

下記URLよりお名前、ご住所、お電話番号、メールアドレス等をご記入の上、お申し込み下さい。
<https://forms.gle/9Hx2xY24gKXvxPs29>(googleフォーム)



注意事項

- ・定員に達した時点で申し込みを締め切る場合がございます。
- ・製材、乾燥等の工程があるため、大きい製品の場合は納品まで1年程度かかる場合がございます。
- ・本イベントは雨天決行となります。森林の中を徒歩で移動しますので、防雨・防泥などの装備はご自身でご準備ください。(荒天の場合は日程延期となります)
- ・記載の金額は全て消費税込みです。

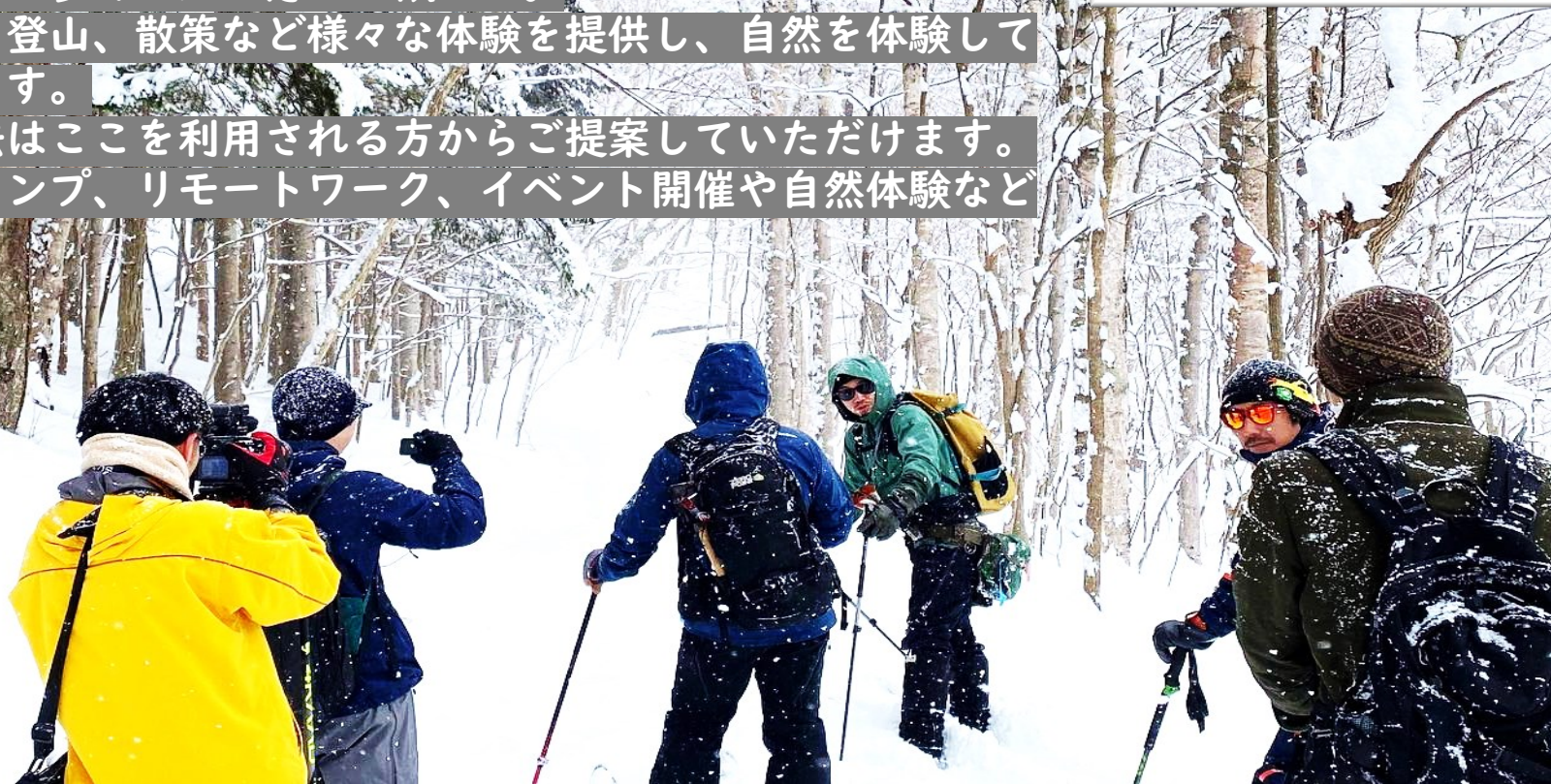
河野真也(オクラホマ)からのメッセージ



去年、環境保全型の林業を営む outwoods 足立成亮さん、僕に“木”のキッカケをくれた河野(こうの)銘木店と札幌のヤマで行なったこの企画。
vol.2は洞爺湖を望める「トーヤの森」です。
以前から個人的に大ファンだった内田悠さんが参加してくれます。作品、メチャクチャ美しいです。量産品と比べたら高いけれど、職人さんが丁寧に作った木の家具やうつわは“一生もの”、大切に使えば次の世代へと引き継がれ、“一生以上のもの”となります。一緒に、洞爺湖と紅葉を見ながら森歩きしませんか？

HP抜粋

山遊びは無限大
洞爺湖を望む完全なる自然
匂い、音、風、全てが人を包み込む神秘の森。
ここで見つかる癒し、アクティビティ、自然が織りなす幻想的な
景色の全てを多くの人に感じて欲しい。
キャンプ、登山、散策など様々な体験を提供し、自然を体験して
いただきます。
ご利用方法はここを利用される方からご提案していただけます。
撮影、キャンプ、リモートワーク、イベント開催や自然体験など



山でつながる山旅のススメ

二本松市・岳温泉通い旅

第2のふるさと

A NEW HOMETOWN





「登山」ではなく、 「山旅」と言おう

東北の山域の中でみれば、「安達太良」や「吾妻」を訪れる登山客数は決して少なくはない。ただしその多くは、所謂ピークハント型の「登山」であり、その帰路の中で山麓の温泉街で日帰り温泉に浸かっても、宿泊し地域の食や地酒を含めた自然体験を計画する人の割合は極僅かである。

今後、この国立公園を「守りながら売る」には、この自然を観光資源として活用し、「守る」人たちの雇用ができる収益を稼ぎ出すことが命題である。そのためには、来訪者の意識を「登山」から「山旅」にシフトさせ、道先案内人のガイド業ではなく、旅のトータルコーディネーターとして山旅を様々なカタチでサポートするための“サービス業”であるというマインドセットが必要である。

「ガイドでは喰っていけない」と言っている限り未来はない。まずは案内する側の意識レベルの変革が必要であり、安達太良自然センターでは、その人たちを「登山ガイド」とは言わず「山旅サポーター」と呼んでいる。そして、こどもたちが夢を抱く憧れの職業にすることが未来に向けたミッションである。

磐梯・吾妻・安達太良ボルケーノトレイル® ATA: Azuma to Adatarara

①

通う人を増やすため

温泉旅だけでなく、登山の旅だけでなく融合した山旅の取り組み

②

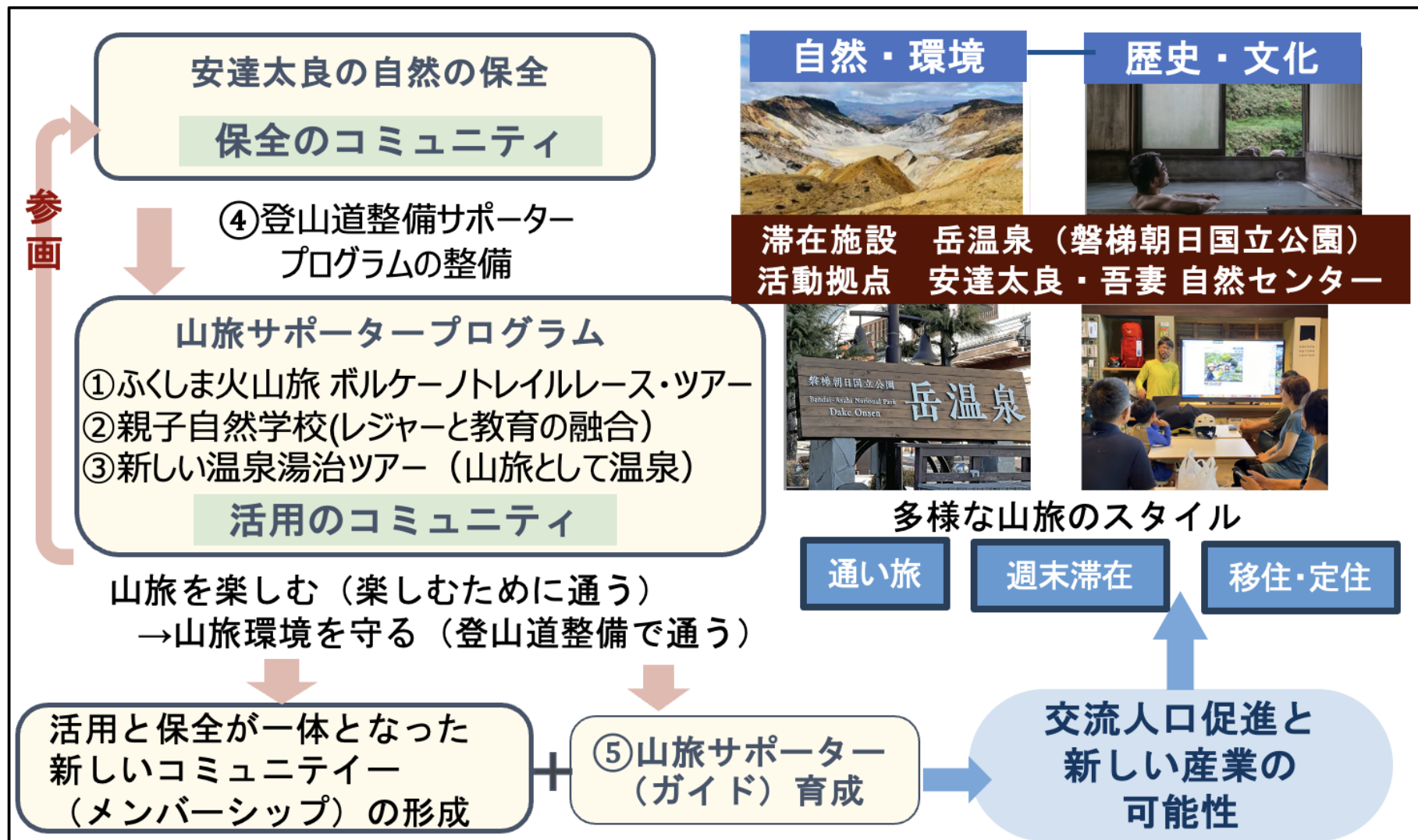
二本松・岳温泉だけではなく、主語を磐梯・朝日国立公園と広域にした取り組み

③

ガイド育成や法人コミュニティーアプローチ



ADATARARA NATURE CENTER ver.20240301



■ プログラム展開事例 山の活用と保全をセットとして考える

活用

火山旅/ボルケーノ・トレイル



親子自然学校



温泉通旅



山を楽しむだけでなく、プログラムの中でも持続可能な視点を組み込む内容

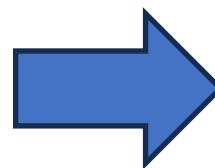
山を楽しんだ人が、山を守る人にもなる
環境保全プログラムへの参加促進

保全

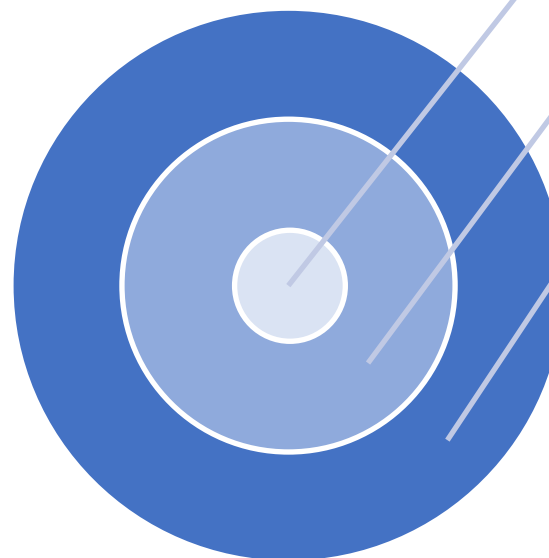
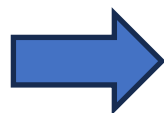


■ 関係人口の交流の流れと考え方

- ① 継続的活動とするために他のエリアのガイドやこれからガイドをしていきたい人に岳温泉に通ってもらうことからスタート
- ② 山旅の取り組みに賛同してくれるメーカー＆コミュニティとコラボ
- ③ 新しいコミュニティからの岳温泉へ通旅の誘引
- ④ 通旅を促すための多様なプログラムと保全プログラムの展開による通い旅
- ⑤ 山旅を愛する人の集う岳温泉へ新しいコミュニティの創出



山を活かし・楽しみ・
そして未来へ残す・つなげる
ことへ興味関心がある
コミュニティ育成により
何度も通う場所としていく



ガイド育成

アウトドアメーカー
& コミュニティ

ハイカー & 温泉好き

ガイドの育成を兼ねた関係人口と交流の促進(まずはガイドによる通いを増やす)



ごとうふさこ

宮城県仙台市

2回来訪 10月、11月も講座予定



雨宮浩樹

福島県郡山市

3回来訪



金 裕香

北塩原(福島県)

2回来訪 10・11月ツアー予定



中村 寛

北塩原(福島県)

2回来訪 10・11月ツアー予定



齋藤理

宮城県大崎市

3回来訪 10・11月ツアー予定

武藤

福島県福島市

1回来訪 ガイド研修参加

一杉

宮城県大崎市

3回来訪 ガイド研修

■ メーカーとの関係交流とコミュニティー交流促



■ 有名ギア販売ショップによる情報配信(9月に3名が歩きに岳温泉へ訪問)



[youtube]
ムーンライトギアチャンネル (登録1.9万人)

都心から2時間ちょっと！？ATAボルケーノトレイル 絶景と温泉の旅 1/2
<https://youtu.be/yScDA82GgpY?feature=shared>

【特典映像】ATAボルケーノトレイル 絶景と温泉の旅
<https://youtu.be/ttLrvn4r5-s?feature=shared>



1万回再生
来月大阪で
ストアイベント予定

山旅好きが帰れる
リアルな場所づくり



ツアー以外も
交流拠点へ来る流れ

今後の展開

来た時に気軽に楽しめる
プログラム

気軽に参加できる
来た時に参加できる
プログラム

ガイド交流

会員制
組織運営

■ モーニングタイム
女将と朝飯前の朝散歩
夏無川リバーウィーク

■ チェックインタイム
汚染旅館の女将に温泉の楽しみ方講座

温泉地としての導入編となる
ただ泊まるだけでなく地域としての
接点を作る。

■ ガイド同士が互いのツアー
へ参加

■ 地元ガイドとの交流
ペアガイドによるツアーや
ガイド談義の交流会

地域の域内外ガイド交流による
コミュニティ形成

■ 継続的な交流のための
会員制の仕組み

検討案
入会金2万円
1万円の地域コスモを渡す
5千円を環境保全へ積立
5千円事務局経費

交流のハブの
安達太良・吾妻自然センターが
運営を担う。

つくる人をつくる in 「井波彫刻塾」

－ 伝統と革新が混ざり合うまち井波で、"マスター"との出会いを通じたファンづくり事業

取り組み紹介

【富山県南砺市】 一般社団法人ジソウラボ

第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

富山県南西部の小さなまち、井波

8つの市町村合併で誕生した南砺市の一地域



豊かな自然と伝統精神が息づく南砺市

2004年に8つの町村が合併して誕生した南砺市。

世界遺産・合掌造りがある五箇山、無形文化遺産・曳山で有名な城端など、歴史的、文化的観光資源を多く擁しています。

厳しい自然環境の中でも、自然の恵みに感謝し、隣人と協力しながら豊かな暮らしを築いてきました。この地を訪れた民藝運動の提唱者・柳宗悦はそれを「土徳」と呼び、今でもその精神が人々に受け継がれています。

その中に人口約8,000人ほどの小さなまち井波（旧井波町）があります。

長い歴史がある「木と信仰のまち」井波

井波の歴史は遠く神代からとも言われ、奈良時代から平安時代には東大寺の荘園が置かれるなど早くから開けていました。

現在のまちは1390年（明德元年）に本願寺五世綽如上人が「瑞泉寺」を建立したことをきっかけに発展し、630年以上に渡り、地域住民が主導しながらまちをつくってきた歴史があります。

戦国時代に加賀藩・前田家お抱えの「拝領地大工」が井波に居住したのをきっかけに、彼らを通して多くの優れた井波大工が誕生しました。

数度の瑞泉寺焼失による再建をきっかけに木彫技術も発展。井波の木彫り文化は、2018年に文化庁の「日本遺産」に認定され、現在まで受け継がれています。



地域の現状と課題

伝統工芸「井波彫刻」存続問題と、産業観光化への課題



250年以上の歴史がある「井波彫刻」

徒弟制度によって技術が受け継がれてきた国指定の伝統的工芸品です。現在も地域に職人が100名程おり、木彫刻産地としては世界的に見ても唯一無二の規模となっています。

しかし、生活様式の変化による市場の縮小により、2022年の売上高はピーク時の1/4以下の約4.6億円まで減少。担い手の平均年齢は66歳を超え、古い慣習が残ることによる後継者不足問題など、課題が山積しています。

後継者育成に関しては、70年以上の歴史を持つ日本で唯一の木彫刻だけの職業訓練校も、2023年3月で休校になるなど、深刻な状況が続いています。

金沢駅から車で45分の距離にもかかわらず伸び悩む観光客入数

2023年の井波地域への推定年間観光客数は約16万3千人。

井波への主な交通アクセスは車または、電車とバスの乗り継ぎです。

県内または隣県からの日帰り客が多く、車で訪れる方が半数以上を占めます。

平均滞在時間は約4時間30分、平均消費額は11,247円と短時間・低消費の傾向です。地域滞在の理由づくりが必要で、特に20～40代の若年層の取り込みが重要です。

令和5年度観光客入数：【井波地域】16万7千人 < < < 【金沢地域】1,057万人

井波地域の宿泊施設数：

- 平時の週末／1泊1万円以下で泊まれる宿：2軒
- ※全体ではホテル・旅館・ゲストハウス10軒、コテージ6棟
- シェアハウス：2軒

井波地域までの主な交通アクセス：

- 車の場合
- ⇒（北陸自動車道）砺波IC下車約10分
- 鉄道とバスの場合
- ⇒北陸新幹線新高岡駅から約60分
- ⇒JR/北陸新幹線新金沢駅から約65～80分

（※2024年4月5日時点）

地域の現状と課題

一方で注目される井波の新たな取り組み



地域のプレイヤーの活躍で、移住・起業家が集まるまちに

2020年に、有志による新たなまちづくり団体「ジソウラボ」を発足。「つくる人をつくる」をミッションに、地域から活躍する人材の輩出を目指して、若い起業家の移住と開業支援を行っています。

また、空き家対策に取り組む「アキヤラボ」、交通課題に取り組む「イドウラボ」、地域の事業承継に取り組む「ケイギョーラボ」も立ち上がり、それぞれ地域内外から集まったプレイヤーが中心となって課題解決に取り組んでいます。

2020年から2023年までの3年間で55軒に入居者が決定するなど、今、井波のマチナカが活況を見せ始めています。

「井波彫刻塾」で新たな需要獲得

井波彫刻協同組合では、2023年4月から誰でも気軽に井波彫刻を学べる「彫刻塾」をスタートさせました。従来の「弟子入り」に比べてはるかに敷居が下がり、初年度は10代から70代までの男女31名が受講。ですが、塾生のお大半が富山県または石川県からの参加者に留まっているのが現状です。

そこで
今回の
実証事業

「井波彫刻塾」での木彫り制作体験を入り口としながら、背景にある地域の歴史文化、なりわい、まちづくり等を学ぶプログラムを造成。地域プレイヤー（＝マスター）との交流を通して、ロイヤルカスタマーを育成する取り組みを行っています。



井波で活動するジソウラボ

ジソウラボとは



ジソウラボ
JISO LABO

メンバーの強みは、多業種×多拠点×経営者×デジタル

ジソウラボは、富山県井波を愛する異業種の若手経営者のチームです。井波出身者に加え、井波に縁があるメンバーで構成されています。

日本遺産のプロジェクトから引き継いだ「BE THE (MASTER) PIECEプロジェクト（通称：MAPs）」という、井波の次の100年をつくる源泉となる人材を集める取り組みを軸に、井波のまちづくり・ひとづくりに携わっています。

プロジェクト毎に最適な単位と形でチームを編成し、近年では経産省・観光庁・富山県などの事業の採択を受け、各事業を推進しています。ベースとなるのは個人の意志。それぞれが自分の意志でジブングトとして活動しているため、柔軟に、スピーディーに推進できています。

▼採択・運営事業例

令和4年度・令和新時代まちづくり推進事業（富山県）

・migakiba ※運営実施地域（環境庁）

令和5年度・地域DX促進環境整備事業（経産省）

・歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業（観光庁）

令和6年度・第2のふるさとづくりプロジェクト事業（観光庁）

・共創・MaaS実証プロジェクト（国土交通省）

事業概要

本事業のターゲット及びニーズ

ターゲット①井波彫刻の技に感動を覚える、20代～40代の都市部在住

来訪経験の有無は問わず、ジソウラボやその他の実施主体と何かしら関わり合いがあった人。何らかの情報で井波を知った（知っていた）人

ターゲット②生きた木彫技術を学びながら制作もできる環境を求めている学生

京都伝統工芸大学など、過去に井波へ来訪経験がある学校の学生および、来訪経験のない富山県近隣の美術系学校の学生

プログラム内容

ターゲットニーズに合わせた2つのコースを用意

井波彫刻コース

井波彫刻協同組合が実施している「彫刻塾」への入塾体験。プロの彫刻師から直接指導をうけつつ、交流を図る。プログラム終了までに、自身の作品を完成させる。

※学生を対象に、夏休み期間に参加できる「短期集中コース」を実施

DX（デラックス）コース

井波彫刻体験を入り口としつつ、「歴史」「自然」「食」「なりわい」などについて、地域の専門家による案内を通して学ぶ。

スケジュールと内容

第1回

7/27-28実施

- 全員で井波彫刻体験
- 井波の歴史座学
- 瑞泉寺の一大イベント「太子伝会」への参加
- 郷土料理「なれずし」食べ比べ など

第2回

8/31-9/1実施

- 「井波彫刻コース」
- 井波彫刻塾
- 文化財修復現場見学
- 刃物研ぎ研修
- 「DXコース」
- ジソウラボの取り組み座学
- まちなか視察

第3回

10/5-6実施

- 井波彫刻作品鑑賞
- 中間振り返り会
- 「井波彫刻コース」
- 井波彫刻塾
- 「DXコース」
- クラフトビール瓶詰め体験

第4回

11/2-3予定

- 「井波彫刻コース」
- 井波彫刻塾
- 「DXコース」
- 世界遺産・五箇山研修

第5回

12/7-8予定

- 最終発表会

学生向け「短期集中コース」を①8/19-24、②8/31-9/4に実施 ③9月5日-9日「糸の文化コース」実施(学生5名+教授1名)

事業概要

参加者の状況

参加者：21名

《内訳》

井波彫刻コース（一般枠） 10人

井波彫刻コース（学生短期集中枠） 5人

DXコース

6人

第1回
7/27-28実施

15人来訪

第2回
8/31-9/1実施

17人来訪

学生集中①
8/19-24実施

2人来訪

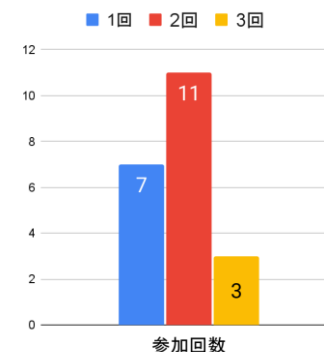
第3回
10/5-6実施

13人来訪

学生集中②
8/31-4実施

3人来訪

参加者の来訪回数



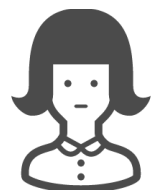
参加者の声（一部）



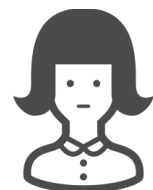
職人の方から、技を惜しげもなく丁寧に教えてもらえて驚いた



アクセスが悪いのは承知の上だったが、分かりづらく、もう少し案内がほしかった



毎回、貴重な体験ができて満足している。多頻度でくる客層に合う宿泊場所があるといい



おもてなし頂けて嬉しいが、地域の方と一緒にいにかするなど、もっと地域に深く入り込みたい

脱炭素先行地域に採択された人口1,700人の村・生坂村

リジェネラティブツーリズム

「旅するいきもの大学校！」

第2のふるさと

A NEW HOMETOWN

長野県生坂村を舞台に企業連携による新たな観光プロジェクトを始動

いくさか『創造の森』リジェネラティブ・ツーリズム

テーマは「ネイチャーポジティブと何度も訪れたくなる第2のふるさとづくり」

長野県生坂村および連携各社と共に、新たな観光事業の一環として、いくさか『創造の森』を舞台とした「リジェネラティブ・ツーリズム」を始動。テーマは「ネイチャーポジティブと何度も訪れたくなるふるさとづくり」。いくさか『創造の森』を舞台に、全6回のツアーを通じて 参加者を「生坂村公式研究員（ネイチャーフェロー）」として認定する本プログラムは、生物多様性に関心のある方々に向けた新たな可能性を提供します。プログラムには、生坂村をホームタウンとするリーグサッカーチーム株式会社松本山雅からもガイド候補生が参加。この取り組みは、生坂村、株式会社松本山雅、クラブツーリズム、株式会社フューチャーセッションズ、合同会社HiTTiSYO、株式会社大広の5つの企業がコンソーシアム形式で協力して進めています。

プログラム設計にあたっては、どのような内容であれば繰り返しの来訪につながるのかを検討し、実際に予定を超える申し込みがあった。現在、事業を進めながら、地域との深度を深める企画を行いオープンチャットの活況なやり取りなど、にコミュニティ形成・醸成に向けたアプローチを行なっている。



<https://tabisuruikimono.com/>



いくさか『創造の森』イメージ図

このプロジェクトの特徴は以下の通り

1. 生坂村公式研究員（ネイチャーフェロー）

全6回で開催されるツアー終了後には、参加者を「生坂村公式ネイチャー研究員（フェロー）」として認定し、彼らが地域の自然保護活動に積極的に参加することを奨励します。

2. 多様な体験の提供

生き物の生態や自然の知識を学ぶだけでなく、実際に自然調査や再生活動に参加することで、深い理解と実践的なスキルを身につけることができます。

3. 地域との交流

各回のツアーに地元ゲストを招き、トークディスカッションを行います。村内の方々との交流を通じて、地域の文化や課題について理解を深める機会が設けられています。

4. 専門家によるガイダンス

立教大学の奇二正彦准教授を講師に迎え、学術的な裏付けのある内容が提供されます。

5. スポーツとの連携

生坂村をホームタウンとするJリーグチーム・株式会社松本山雅からもガイド候補生が参加し、スポーツと環境保護の融合という新しい視点も提供されます。

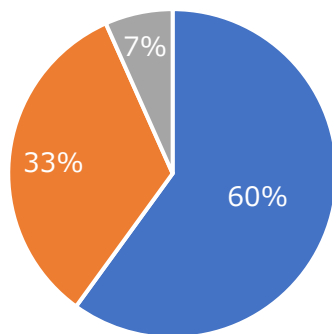
最大20名を想定して応募開始

応募期間：7月19日～8月30日

応募総数：34名

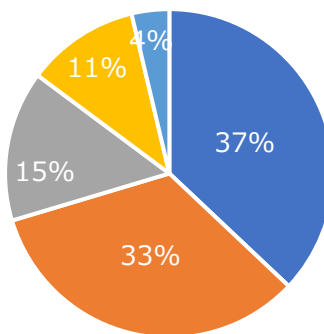
オープンチャット参加数：49名

参加回数



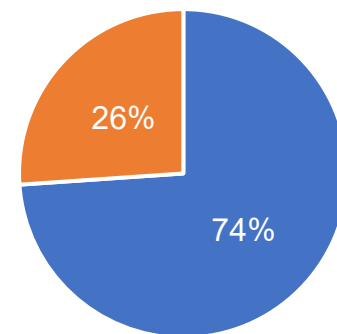
■ 4回 ■ 3回 ■ 2回

流入経路



■ 奇二准教授 ■ 関係者 ■ 知人 ■ メルマガ ■ 新聞

事前オンライン説明会(9月11日)



■ はい、参加します ■ いいえ、参加できません

ペイドメディアを利用せず関係者のクチコミによる告知で集客

プログラムのガイダンスを担当する立教大学・奇二准教授による発信で大学コミュニティ派生の学生や関心層、次いで連携企業メンバーによる個人的なSNS等での発信による集客を行なった。信頼性の高い人物からのクチコミだったため、参加者の質が高く、関係人口の増加をゴールとする生坂村にとってはターゲットが合致した。



KNT-CT Holdings Co., Ltd. Group
2024年7月19日【第24-09号】

News Release

長野県生坂村を舞台に企業連携による新たな観光プロジェクトを始動 いくさか『創造の森』リジェネラティブ・ツーリズム ～テーマは「ネイチャーポジティブと何度も訪れたくなる第2のふるさとづくり」～

クラブツーリズム株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：酒井博、以下クラブツーリズム）は、長野県生坂村および連携各社と共に、新たな観光事業の一環として、いくさか『創造の森』を舞台とした「リジェネラティブ・ツーリズム」に取り組むことを発表いたします。テーマは「ネイチャーポジティブと何度も訪れたくなるふるさとづくり」。生坂村・いくさか『創造の森』を舞台に、全6回のツアーを通じて参加者を「生坂村公式研究員（ネイチャーフェロー）」として認定する本プログラムは、生物多様性に関心のある方々に向けた新たな可能性を提供します。プログラムには、生坂村をホームタウンとするJリーグサッカーチーム株式会社松本山雅からもガイド候補生が参加予定です。

この取り組みは、生坂村、株式会社松本山雅、クラブツーリズム、株式会社フューチャーセッションズ、合同会社HITTiSYO、株式会社大広の5つの企業がコンソーシアム形式で協力して進めています。それぞれの企業が持つ専門性とネットワークを活かし、多角的な視点からプロジェクトを支援します。

公式サイト：<https://tabisurukimono.com>



事業が実施される背景：

長野県生坂村は、美しい自然環境と豊かな生物多様性を誇る地域として知られています。近年、気候変動や環境破壊が進行する中で、地域社会として持続可能な未来を築くための取り組みが求められています。生坂村は2023年に環境省の選定する「脱炭素先行地域※」に選定されており、地域全体でのカーボンゼロ宣言を発出しています。そのような背景を持つ同地を舞台に、「リジェネラティブ・ツーリズム※」に着目しました。ニュートラルを目指すとともに、新たな観光の形として「リジェネラティブ・ツーリズム※」に着目しました。

※脱炭素先行地域とは、国が「地域脱炭素ロードマップ」及び「地球温暖化対策計画」に基づき、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてその他の温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。

※リジェネラティブ・ツーリズムとは、これまでの消費中心の観光とは異なり、訪れた土地の自然環境や文化を学び、適切な手法で手を加え、より良い姿に再生することを目指す新しい観光のスタイルです。

い
i
o

合同会社HITTiSYO
〒388-7201 長野県東筑摩郡生坂村万平7047

2024年7月19日
（1枚目／全2枚）

る新たな観光プロジェクトを始動 ネラティブ・ツーリズム 訪れたくなる第2のふるさとづくり」

HITTiSYOは、長野県生坂村および連携各社と共に、新たなネラティブ・ツーリズム」に取り組むことを発表いたします。「いくさか『創造の森』を舞台に、全6回のツアーを通じて本プログラムは、生物多様性に関心のある方々に向けた新たなリーグサッカーチーム株式会社松本山雅からもガイド候補生が

株式会社フューチャーセッションズ、合同会社HITTiSYO、株式会社大広の5つの企業が持つ専門性とネットワークを活かし、多角的



いくさか『創造の森』イメージ図



tabisurukimono.com

背景

長野県生坂村は、美しい自然環境と豊かな生物多様性を誇る地域として知られています。近年、気候変動や環境破壊が進行する中で、地域社会として持続可能な未来を築くための取り組みが求められています。生坂村は2023年に環境省の選定する「脱炭素先行地域※」に選定されており、地域全体でのカーボンゼロ宣言を発出しています。そのような背景を持つ同地を舞台に、「リジェネラティブ・ツーリズム※」に着目しました。

※脱炭素先行地域とは、国が「地域脱炭素ロードマップ」及び「地球温暖化対策計画」に基づき、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてその他の温室効果ガス排出削減についても、我が国全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。

※リジェネラティブ・ツーリズムとは、これまでの消費中心の観光とは異なり、訪れた土地の自然環境や文化を学び、適切な手法で手を加え、より良い姿に再生することを目指す新しい観光のスタイルです。

〒388-7201

EASE

株式会社 大広 戦略広報室
<http://www.daiko.co.jp/>

2024年（令和6年）7月19日

る新たな観光プロジェクト リジェネラティブ・ツーリズム るさとづくり」を大広が支援～

代表取締役社長：泉恭雄、以下「大広」は、長野県生坂村および連携各社と共に、新たな観光事業の一環としていくさか『創造の森』を舞台とした「リジェネラティブ・ツーリズム」に取り組むことを発表いたします。



「リジェネラティブ・ツーリズム」モデル実証事業の一環として企画

も訪れたくなるふるさとづくり。いくさか『創造の森』を舞台に、生物多様性に関する様々な情報や体験を「リジェネラティブ・ツーリズム」を通じて提供します。本プログラムは、生物多様性に関心のある方々に向けた新たなリーグサッカーチーム株式会社松本山雅からもガイド候補生が参加予定です。

クラブツーリズム（株）、（株）フューチャーセッションズ、合同会社HITTiSYO、株式会社大広の5つの企業がコンソーシアム形式で協力して進めています。

広報室
TEL 0261-1111 MAIL: info@daiko.co.jp

7月23日

虎ノ門ヒルズARCHにて企業向け事業ピッチを開催



総勢72名が参加！

問い

「今日は、どんなことを期待して参加されましたか？」

ネイチャーポジティブを知らないので理解したい！
具体的な施策が無くて困っている！
生坂村に興味がある！
松本山雅FCやサッカーが好き！

6回は行けないが生坂村への企業視察を行いたい

リジェネラティブツーリズムに社員を研修として参加させたい

企業としていくさか『創造の森』に関われるのか

第1回目：9月15日（日）開催（参加人数：22名 スタッフ：15名 総勢：37名）

生坂村現地調査①～創造の森を調査してみよう！～

【工程表】

- 12時30分 いくさか『創造の森』にてオリエンテーション（参加者全員の自己紹介）
- 13時30分 アクティビティ①『創造の森』ツアー&モニタリング
- 14時30分 軽食タイム（勝家おやき+『創造の森』で収穫したバターナッツカボチャのスープ）
- 15時00分 地元ゲストトーク（ゲスト：「にわにわ養鶏場」佐久間拓郎さん）
- 15時30分 アクティビティ② 調査データ共有
- 16時00分 アクティビティ③『創造の森』にセンサーカメラを仕掛ける
- 16時40分 本日の振り返り
- 17時20分 解散



参加者に配布されたいくさか『創造の森』マップ。学んだことや行なったアクションを各人が書き込んでいく。



プログラムのゴール

全6回の本プログラムツアーは以下の3つのアウトプットが生まれている状態を目指します。

1. 「いくさか『創造の森』マップ2025」

→調査結果・アクション内容をプロットしたマップ

2. 「いくさか『創造の森』未来マップ2035」

→いくさか『創造の森』の未来のありたい姿を参加者と共創したマップ

3. 「ネイチャーポジティブMyアクション」

→ありたい姿に向かって自分が取り組みたいアクションや研究テーマ

2024年度「旅するいきもの大学校！」第1期生のミッション

30by30のアライアンスに参加登録を行い

令和7年度後期の「自然共生サイト」登録を目指す



松山雅・ガチャこと片山さんによる緊張を解くためのアイスブレイク。初めまじの参加者同士で自己紹介をしまい、相手のニックネームや好きな食べ物などを発表していく。笑いに包まれた会場はやがて和やかなムードに。



村長からご挨拶をいただいていたよいよプログラムスタート！



立教大学・奇二准教授によるネイチャーポジティブに関する世界の最新動向を聴講。熱弁を振るわれました！



我が村が誇る伝統食。勝家おやき♡



雲が切れ竹林を散策



佐久間さんをゲストに迎え循環型養鶏のお話をたっぷり30分ご案内いただきました。



にわにわ自然養鶏の卵を使った手作りパウンドケーキ♡



初めて鶏を胸に抱きニコニコの笑顔

本ツアーに参加をする方々が、継続的に生坂村を訪問し、「ファン」となるには何が必要なのかを明らかにするためのターゲットインタビューを行なっている。

属性1のBの速報値を簡易にまとめた。

〈現状の来訪者ターゲット仮説〉

趣味・娯楽層	環境活動層	企業関係者	学生
属性1	属性2	属性3	属性4
自然が好きで、趣味や娯楽としてアクティビティに参加したい	自身で環境に関する何らかの活動をしており、インプットの間・新たな活動の場として検討したい	サステナビリティ関連、新規事業関連	生物系/地域系
A.実施に申し込んだ人	B.検討しただけ申し込まなかった人		



【申し込みに至らなかった理由】

サイトを見て、何をするか内容が分かりづらい。何をしに行くのか具体案が見えなかったため予約まで至らなかった。また日数が多いのが心理的ハードルだった。

【31歳・男性】
小笠原諸島で保全活動をしていたことも。現在は、害虫駆除の仕事。物心つく前からの昆虫好き。

（魅力的だった点）

長野の自然豊かな地域の自然に合法的に入れるのは魅力的。自然観察する人にとってはありがたい。現地に詳しい人がいるのは魅力的。

（魅力的ではない点）

旅行に行くときに、必ず目的を定める。岐阜にオオサンショウウオを見に行く、福島にアマガエルを見に行くなど。村のスター生き物がいるとわかりやすい。生き物が好きな人は「目的ありき」。それがないと、ハードルが高く感ずる。

A.実施に申し込んだ人

B.検討しただけで申し込まなかった人



【申し込みに至らなかった理由】

参加したいと思った。近くの森といっても、規模が違うと思うし、カメラでの調査も面白そう。シカやイノシシの跡も見つけるのも楽しそう。施設見るのも面白そうだし、やることいっぱいありそう。

【43歳・女性】
8歳の息子と生き物標本作りをしている。子育てをキッカケで生物にはまる。神戸「キナの森」森活によく行く。

（魅力的ではない点）

具体的に見ることのできるいきものの種類が分からない。**何が見れるのか分からない。**地域の特徴、こういう地形でこういう生き物がいますといったことを知りたい。面白そうと思ったが、**子供に「何しにいくの？」**と言われたときに説明しにくい。

例えば参加者が採取した調査結果を閲覧できれば、本気度が伝わる。

総括

自然が好きで、趣味や娯楽としてアクティビティに参加したい層にとっては、地域へ訪れる動機として具体的に「**どんな生き物**」を観察するというフックが必要である。本村にもレッドリストにあがっている絶滅危惧種の生物が実際にいるが本プログラムの主旨である「何度も訪れたいふるさとづくり」とは乖離するため、敢えて選択しなかった。実際にプログラムの参加者へのインタビューも始まったが、参加者にとってはいくさか『創造の森』で、自身が参加したことで到達する「共通のゴール」設定と生物多様性については「定点で観測し続ける」機会の創出が重要であることが分かった。参加者の中には研究者などもいるため、ブランディング的には「生物多様性のエンタメ化」を行いつつも、本プログラムの「目指すべき共通のゴール」は生物多様性に寄与し、それらの活動が可視化された状態とすることが求められている。

目指すべきツアープログラムのゴールはいくさか『創造の森』が「自然共生サイト」の認定を受けること。
参加者はそのための活動計画やモニタリング計画を実践し登録時の研究者として名前を連ねることができる。

あくまで我々運営側のミッションは引き続き「**生物多様性のエンタメ化**」=新しい観光のスタイルの確立である。

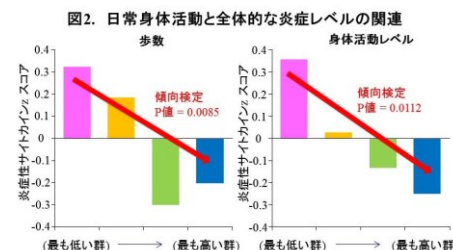
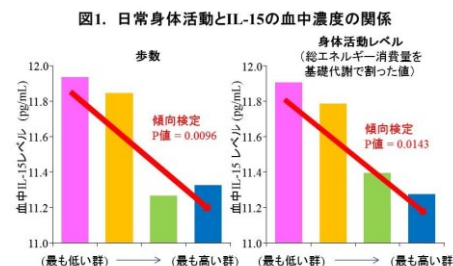
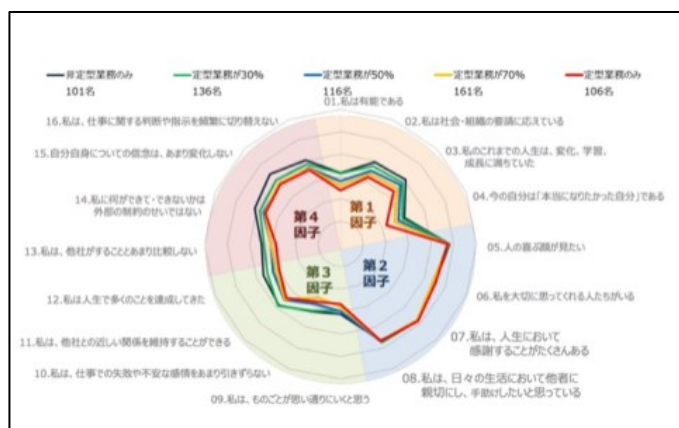
参加者のウェルビーイングに及ぼす効果検証を行なっている。

A) 主観的ウェルビーイングの測定

ウェルビーイング4因子、または人生満足尺度（SWLS）の指標を用いて、アンケート回答データを取得・分析し、本ツアーが、参加者の主観的ウェルビーイングにどのような影響を与えているかを探る。

B) 客観的（身体的）ウェルビーイングの測定

唾液検査・血液検査等によるインターロイキン6等の生理指標を用いて、回答者の生理データを取得・分析し、本ツアーが、参加者の主観的（身体的）ウェルビーイングにどのような影響を与えているかを探る。



連携企業や奇二准教授による本プログラムの紹介が各所で行われている。

この調査結果は論文としてまとめウェルビーイング学会に提出予定。星野は地域活性学会へ本プログラムについて寄稿予定。

本事業を自走化するためにも企業視察の受入を検討。10月18日に第1回を開催することになった。

地域貢献やウェルビーイング向上につながる 「生物多様性保全型」企業の社員研修・福利厚生のご提案

「地域貢献、従業員やその家族からのウェルビーイング向上に」 自然環境への理解促進を図る「従業員向け研修」:

生坂村の里山の成り立ち、里山と私たちの日常のつながりを知る。いくさか『創造の森』の自然再生への取り組みに参加し、自然環境や生物多様性への理解を深めます。

いくさか『創造の森』の里山再生活動に参加する「フィールドワーク」:

伝統文化の探索と価値形成による持続可能なコミュニティをデザインをする生坂村にある合同会社が行う「大地の再生」、「自然栽培による多品種を育む農業」、「オフグリッドハウス作り」に参加します。非日常の体験を通じ、チームビルディングやウェルビーイングの向上につながります。

従業員家族への福利厚生「ファミリー向け生き物教室」:

従業員だけではなく、子どもを含めた家族の参加も可能。子どもの頃の自然体験は、子どもの自己肯定感や非認知能力を高めることにもつながるという研究結果も出ています。

事業者の地域貢献につながる:

活動に事業者と一緒に取り組むことで、関係人口が増加し、過疎化や高齢化といった生坂村の抱える地域課題の解決に寄与し、事業者の地域貢献の一つの形になると考えています。

12:00

現地集合（JR明科駅から村内への送迎付き）

12:30

いくさか『創造の森』にてオリエンテーション

13:00

いくさか『創造の森』にて昼食

14:00

いくさか『創造の森』で実際に自然に手を加える（リジェネラティブプログラム体験）

15:00

生坂村役場表敬訪問 + 松本山雅とのディスカッション（村長挨拶～村づくり推進室長に脱炭素先行地域づくり事業についての取組紹介～株式会社松本山雅とのディスカッション）

16:00

村内周遊

17:00

現地解散（村内からJR明科駅への送迎付き）

7月23日虎ノ門ヒルズ・ARCHにて行われた企業ピッチの傘下企業を中心に
現在、7社が参加予定。

プログラムツアー第2回目には、前泊を促すオプショナルプランを企画。6名の参加者が参加。スタッフ含め18名で催行。



地産地消の食材で野外パーティー



焚き火を囲って未来ビジョンを描く



人数分の秋刀魚を焼きました



ぶどう農家へ訪問しお話を伺う



育てる難しさのお話を聞いた後
ぶどうへの印象が変わる



神社仏閣を見て回りました

10月のオプショナル満喫プログラムは、半日だけではご案内しきれない生坂の魅力をお伝え。いっさか『創造の森』での夜の焚き火料理や、村の周遊を企画。宿泊を希望されている方には村営のやまなみ荘のお部屋をご紹介します。

【工程表】

18:00

いっさか『創造の森』集合 乾杯とBBQ

21:30

いっさか『創造の森』にて解散

9:00

やまなみ荘へお迎え-村内周遊ツアーを敢行-

乳房イチョウ～高津屋森林公園～仏閣～スカイスポーツセンター～ぶどう農家

12:00

いっさか『創造の森』解散

次回は10月30日のプログラム終了後に村民も
参加する

いっさか『創造の森』presents
森の音楽会開催予定

来訪者が地域とつながり続ける持続可能な仕組みづくり事業
～サステナブルシティを第2のふるさとに～【愛媛県大洲市】

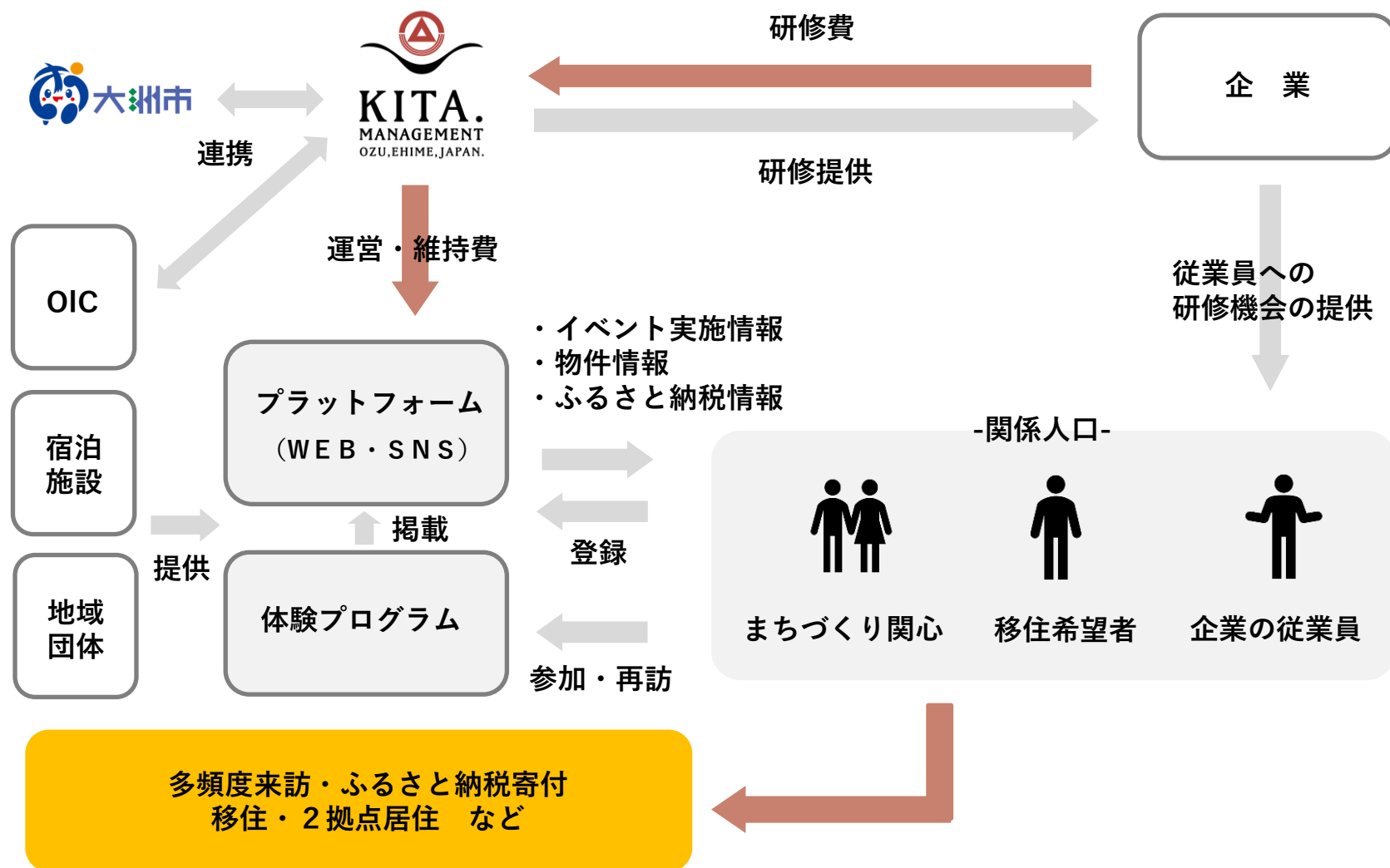


じんどこつながる、じんどこたのしむ。

大洲カンパニー

第2のふるさと

A NEW HOMETOWN



【キャッチコピー】

どんどこつながる、どんどこたのしむ。

【コンセプト】

「どんどこ」は水が堰を切って流れるオノマトペです。大洲の肱川をモチーフに、勢いを表す言葉として起用しました。コピーと連動し、キービジュアルにも川が動く「どんどこ」な仕掛けを入れる予定です。

体験価値のあるイベントや場所を求め、各地から人が訪れる。そうしてまちと人が自然とつながり、来た人同士もゆるやかにつながっていく。「つなぐ」でもなく、「つなげる」でもなく、その場を求めてやってくる同士が自然発生的に、つながる。それが「つながる」の4文字に込めた思いです。

そして、地域の人も地域外の人も一人一人が「たのしむ」こと。「たのしむ」は、「豊かになる」という意味があります。まちとひと、ひととひとがつながって、豊かになる。このコピーは、参加者一人一人へ向けられたコピーであると同時に、まち全体へ向けたコピーでもあります。これから始まるさまざまな関わりの中で、人もまちもアップグレードしていく。そんな未来図（野望）を表現したキャッチコピーです。



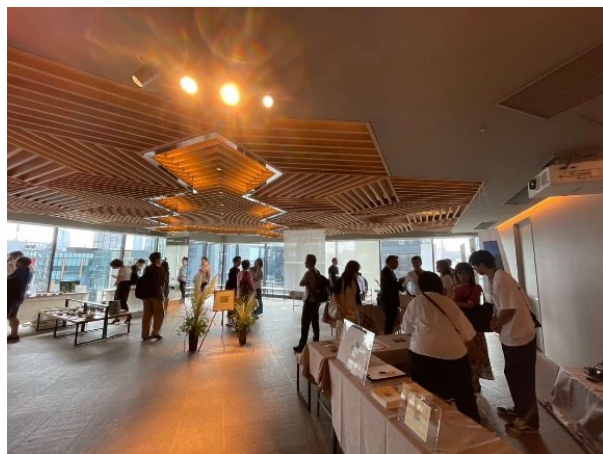
どんどこつながる、どんどこたのしむ。

大分県カンパニー

事柄	実績	達成率	その他
大洲博参加者	267名	18%	母集団形成のために集客よりも登録者数増を狙うイベントに変更した
大洲カンパニー登録者	126名	63%	登録者の内、70%が市外からの登録者
企業研修説明会参加者	26名	86%	大洲博@東京にて実施
モニターツアー参加企業	4社内定	80%	10月24日25日実施 11月も実施予定
体験プロジェクト	3回実施	20%	
体験プロジェクト数	10個	N/A	



- これまで来訪のあった方のリスト化とアプローチ（済）
- 大洲博@東京・松山（済）
- 企業人事へのアプローチ、説明会、交流会（済）
- ウェブとSNSを構築し、広告投下（済）
- パンフレットの配布（済）
- 既存CRMシステムによる周知（済）



大洲博@東京
at GINZA IV（ギンザシックス）



大洲博@東京
企業向け説明会の様子



大洲博@東京 有料大交流会
at GINZA IV（ギンザシックス）



大洲博@松山
at テックアイエス

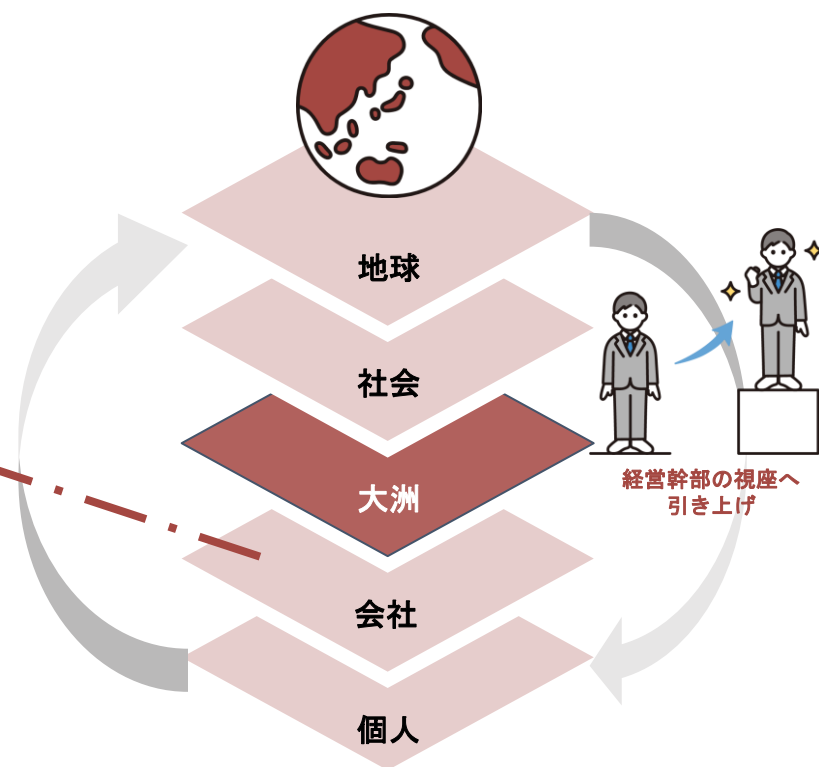


大洲博@松山
の様子

「会社」を超えた世界を 「ジブングト」に視座を引き上げる

当事者として捉える領域を拡張し、周りを巻き込み、既存の枠組みを変える
「経営幹部の視座」を引き上げるきっかけとなるリーダーシップ

	時間軸	空間軸
経営者	15年先	地球
経営幹部	数年先	社会
部長	1年先	業界
課長/マネージャー	四半期	会社
係長/チーフ	月	自課
メンバー	週・日	自チーム





- 専用ウェブサイトの閲覧（済）
- 会員制コミュニティへの登録（コミュニティプラットフォーム）（済）
- 企業研修（モニターツアーによるブラッシュアップ）（未）
- 会員特典付与（該当店舗で利用できるクーポン券、大洲イノベーションセンターの無料利用券、レンタサイクル無料券（済）
- 体験プログラムの掲載、専用グループへの登録（済）
- 専用ふるさと納税返礼品（宿泊クーポン）の掲載（未：運営事業者作業中）



大洲ファンを増やすための
「どんどこつながる、どんどこたのしむ。」ためのプラットフォームです



どんどこつながる、どんどこたのしむ。

大洲カンパニー

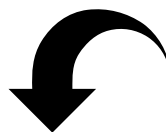
こんな方にお勧め



大洲の情報を知りたい



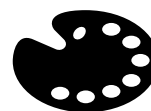
起業などの興味がある



移住を検討している



面白そうなプロジェクトに参加したい



大洲でお店を持ちたい



地方創生に興味がある



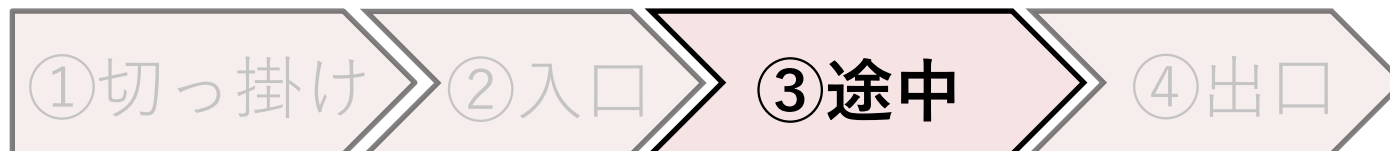
大洲出身である



①会員制ウェブサイトFANTS「大洲カンパニー」に登録

②各プロジェクトに参加

③参加インセンティブをゲット！！



- 体験プログラムへの参加（再訪・初来訪）（1部実施済）
- 大洲の特徴や歴史文化、人、プロジェクトを知ってもらい、つながりを創出（複数回来訪することで完成する体験プログラム）



肱川部 肱川あらし課

11月中

肱川あらし
観測会

肱川あらしを活用した地域活性化を考えるプロジェクト



農業部 米作り課

10月中

酒米の収穫
稲木干しの体験

自然農法で酒米を作り、オリジナル地酒を造るプロジェクト



食べ物部 郷土料理課

9/28

大洲のいもたき
を囲む会

郷土料理の若い世代への伝播を考えるプロジェクト



農業部 果物課

12月中

紅まどんなの
収穫体験

耕作放棄地の解消や地域農業のPR等考えるプロジェクト



不動産部 銭湯課

10月中 よしの湯利用
方法を考える会

閉業の銭湯の活用を進めて
いくプロジェクト



企画部 イベント課

11/3 城下の
MACHIBITO

10/5 大洲クラフト
マーケット



不動産部 空き家活用課

10/5 旧宮崎邸の利用
方法を考える会

空き家の活用を進めて
いくプロジェクト



農業部 農泊課

9/20 Talのかまど
移設DIY

農泊用に古民家を改修し、地
域の未来を考えるプロジェクト



肱川部ウィンドサーフィン課

10月中 ウィンドサー
フィン交流会

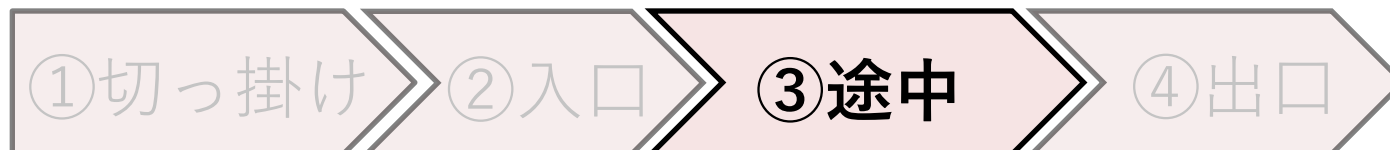
肱川河口部をウィンドサーフィ
ンで盛り上げるプロジェクト



農業部 野菜課

11/17 ラディッキオの
収穫/調理体験

12/15 白菜の収穫/
調理体験



- 来訪時、O I C（ワーケーション施設）及びレンタサイクルの利用無料、地域事業者店舗で利用できるクーポン券配布（済）
- 体験プログラムを通して、「学び」と「人との交流」を通じて大洲のファン化（未）



